

2020年6月3日

宮城県知事

村井 嘉浩 様

「県有施設の再編に関する基本方針」のパブリックコメント回答についての意見書

拝啓 新型コロナウイルス感染という未曾有の事態の中、県政にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年秋から多くの県民が注視してきた「県有施設の再編に関する基本方針」が3月末に策定されました。これに先立ち昨年末に示された中間案に対しては、県民が221通ものパブリックコメントを寄せました。宮城県美術館の移転集約について疑問を呈する意見がほとんどであったと理解しています。

県民の示した意見、提言についての県からの回答は、県民の真摯な問いかけを受け止めたとは思えない内容でした。あくまで移転集約を前提としており、多額の費用を要すること、また地下を道路が通ることを理由に、建物を改修して長期化を図ることについては言及がなされておられません。また、県民が高く評価して移転集約の反対の根拠とする現美術館の建物、周辺環境の価値についての考えもまったく示されないままに、にぎわい創出の観点から移転が示されており、とうてい納得できるものではありません。

私たちは、こうした姿勢におおいに疑問を感じることから、ここに回答についての意見書を提出いたします。別紙のとおり、疑問と要望を3点上げ、お示しいただいた回答について意見を記載いたしました。

パブリックコメントは、県民が県の計画する事業に対し直接意見を申し述べることのできる唯一の機会です。形骸化させないためにも、私たちの意見と見解を受け止めていただきますようお願いいたします。

また、パブリックコメントの書面様式は文字があまりに小さく、読み手に配慮したものとは思えません。こうした書面におけるバリアフリー化も全庁的に図っていただきますことを重ねてお願い申し上げます。

敬具

アリスの庭クラブ

代表 西大立目 祥子

世話人会 大沼 正寛

佐藤 奈緒子

柴田 治

菅原 麻衣子

高橋 直子

早坂 貞彦